

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	くらしこく				
H30採択グループ番号	07	—	0008	—	0661

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	30年度にグループとして力を入れたのは、①供給住宅の品質向上 ②消費者への訴求活動の2点です。①については設計・施工会員の断熱性能・パッシブ設計力の向上を目指し各種研修を実施、また設計コンペを行うことで、各会員スキルの確認・会員間知識の共有を図りました。結果、グループの供給住宅の平均性能値の向上はもちろん、プレゼン力の向上・受注力向上にもつながっています。②については断熱パネルの生産工場の見学と家づくりセミナーをセットにした消費者向けのイベントを継続開催しています。また、WEBやSNSを使った情報提供および会員が行う内覧会情報を会員間でも共有、相互活用を推進しています。今後も①②を継続することにより「量」と「質」の両立を図りながら、地域におけるグループのブランド化を進めていきます。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/05/17	名称	グループ方針およびグリーン化事業説明会	●
	内容	30年度の「くらしこく」グループ方針発表を実施、同時にグリーン化事業における採択内容・グループ共通ルール・申請の流れなどを説明しました。質疑では毎年、申請についての内容が多い為、昨年度の申請種類を使い解説しました。					
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/06/09	名称	家づくり教室IN熊山工場	●
	内容	グループ共通仕様となる断熱パネルを生産している工場、住宅セミナー&工場見学を実施。セミナーでは省エネ住宅のメリットを経済性・快適・健康・安全を切り口に解説、経済性ではファイナンシャルプランナーによる光熱費を含めたライフサイクルコスト提案を実施。また工場見学では生産ラインを見学、品質の高さを見て頂き、安心して建てて頂けるよう努めています。(同企画を9月1日・12月9日・3月9日の計4回開催)					
③ 工務店	消費者説明会 2	有	開催日	2018/04/07	名称	完成見学会	●
	内容	構成員である施工業者が各々住宅の完成見学会を開催。性能面へのこだわりやパッシブ設計による工夫など、各現場で消費者へ分かりやすく伝える事を意識して実践しています。リピート客も多く来場する見学会となっています。(くらしこくホームページへの情報公開分で計68回開催)					
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/06/15	名称	経営計画研修	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/06/19	名称	トリプルSマイスター研修	タイプ 実習 ●
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/12/10	名称	北海道ビルダー視察	タイプ 見学会 ●
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/03/12	名称	企画型住宅フォロー研修	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有		
	内容	未経験工務店へ個別に事務局が訪問、設計・性能計算など個々の知識レベルに合わせた技術サポートを実施しました。31年度は各項目をカリキュラム化したテキストを作成、集合形式での研修を行っていきます。		
取組み ②	サポートの有無 2	有		
	内容	実践出来ている工務店の完成・構造内覧会の情報を共有、未経験工務店の見込み顧客を同行動員する(内覧会の相互活用)を行い、地域型住宅の受注支援を行いました。		
取組み ③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	41	発行予定	11
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	施工構成員により異なる	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	引き継ぎ合意書の取得を行い、廃業時にグループの他構成員に引き継ぐ仕組みを構築。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	共通仕様となる断熱パネルの採用により一定以上の性能を確保、その上で、性能目標値を定め、構成員の供給住宅の高性能化を図りました。また、施工事業者の物件ごとの性能値と、グループ平均性能値を公開することで、高性能への誘導を図っています。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	各種研修を通じて、高性能化の重要性、それを満たす為の設計手法スキルUPなどを随時図っています。	
BELS工務店の登録数	15 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	くらしこく				
H30採択グループ番号	07	—	0008	—	0661

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/06/05	名称	グループ方針およびグリーン化事業説明会		
	内容	31年度の「くらしこく」グループ方針発表、同時にグリーン化事業における採択内容・グループ共通ルール・申請の流れ・昨年度との相違点などを説明予定です。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/05/19	名称	家づくり教IN熊山工場		
	内容	昨年度と同様、グループ共通仕様となる断熱パネルを生産している工場で、住宅セミナー&工場見学を実施。省エネ住宅のメリットを経済性・快適・健康・安全を切り口に訴求。同企画を5月19日・7月28日・10月以降2回の計4回開催予定です。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/06/08	名称	完成見学会		
内容	昨年度同様、構成員である施工業者が各々住宅の完成見学会を開催。性能面へのこだわりやパッシブ設計による工夫など、各現場で消費者へ分かりやすく伝える事を意識して実践していきます。							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/26	名称	性能向上カレッジ	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/09/16	名称	パッシブ設計研修	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/06/13	名称	トリプルSマイスター研修	タイプ	座学
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	8月より、高性能住宅の必要性・設計手法・外皮計算・一次エネルギー計算・一般消費者への提案手法・住んでからの室温測定などをカリキュラムとした集合形式のセミナーを開催。内容はテキスト化され、今後継続して開催する予定です。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	事務局による未経験工務店への個別訪問・技術的サポートは継続開催します。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容	実践工務店の完成・構造内覧会現場の相互活用は、昨年度同様に継続します。						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	施工構成員により異なる(自社管理も可)
------------	----------	-----	---------------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	昨年度同様、引き継ぎ合意書の取得を行い、廃業時にグループの他構成員に引き継ぐ仕組みを構築。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み(新築)	有						
内容	昨年同様、共通仕様となる断熱パネルの採用により一定以上の性能を確保、その上で、性能目標値を定め、構成員の供給住宅の高性能化を図ります。方針発表に中で、昨年度のグループ平均性能値を公開。						
省エネ化に対する取組み(改修)	有						
内容	昨年度同様、各種研修を通じて、高性能化の重要性、それを満たす為の設計手法スキルUPなどを随時図っていきます。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/08/20				
内容	省エネ改修型の内容説明・解説、および共通ルールの説明、省エネ改修における基礎知識を伝える。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	くらしこく				
H30採択グループ番号	07	—	0008	—	0661

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	四国の気候風土に合った高性能(高気密・高断熱・パッシブ設計・高耐震)で長寿命な住宅を供給することで消費者に、真の健康・快適・安心・安全な「暮らし」をお届けするところを目指しています。その為に、独自の性能基準を設け、地域材の活用による地域風土との調和を目指し、継続的なメンテナンス基準を設け、より良質な長期優良住宅・ZEH住宅の普及を進めています。	●
----	---	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	80%以上	■
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有	主要構造部は100%合法木材を使用、うち土台・柱は四国产の杉または桧を90%以上使用する。主要構造部以外の部材については合法木材認証の四国产木材を1.8m3以上使用する。	
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有		
造作材	枠材、廻縁等	無		
板材	壁板、床板等	無		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	各施工事業者個々での調達ルートが存在しており共同化を図る事が難しい。建築コストダウン・安定供給に向けての情報交換は実施していません。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	断熱・耐震を担う「耐震壁・断熱一体型パネル」の使用を共通ルールとしており、高い品質の平準化を図っています。またパネルは工場生産にて精度が高く、現場作業の合理化にもなっています。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	1回/月の定例会の中で、構成員で得た在庫情報を事務局へ報告、各構成員に情報共有を行っています。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	耐震壁・断熱一体型パネルの施工基準を順守することで、高い品質の平準化を図っています。また、外壁通気層の確保・開口部からの雨水の侵入対策として先張り防水シートの施工を共通ルールとして定めています。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	個々の住宅ごとに維持管理計画書を作成、住まい手への点検時期(6カ月・1年・5年・10年・20年・30年)の通知を行い、点検を確実に実行します。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	高性能が現場で確保されていることの証明として、全現場気密測定を実施。その結果を性能報告書として住まい手へ報告。写しを事務局に提出してもらっています。また、共通ルールとなる地盤調査については地盤調査報告書を事務局に提出してもらっています。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	ルールではありませんが、CAD連動の自動積算ソフトK-Engineを使った、業務の効率化・詳細見積書提示を推進、トリプルSマイスター研修としてCAD・ソフトメーカーの協力のもと研修会を行っています。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	浴室・トイレ・給湯器の3カ所は省エネ性の高いものを使用する。 耐震性確保の為、屋根材が「軽い屋根」の場合でも「重い屋根」にて壁量計算をする(太陽光発電パネルが乗る事を想定)。 図面計画段階で「通風創風の開口設計」を実施する。 地域の節水対策として雨水タンクの設置を推奨(香川県・愛媛県)。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	基本的には各構成員に委ねているが、週休2日制(隔週含む)を推奨している。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	無	内容	
③ 社会保険への加入	有	内容	基本的に各構成員に委ねているが加入している。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	無	内容	

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	くらしこく				
H30採択グループ番号	07	—	0008	—	0661

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	無	内容	
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	無	内容	
④ 地域の伝統的素材の活用	無	内容	

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	軒・庇のある建物を推奨。パッシブ設計という観点でも、日差しの強い四国における日射遮蔽としての効果を期待できる。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	日射遮蔽・利用(パッシブ設計・すだれの活用)、通風設計などを行い、伝統的な住まい方の手法を調査研究している。(一例としてお住まいの住宅の室温を測定、効率的な住まい方が出来ているかを検証)
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	外観に使用する素材および材料は、周辺の環境に考慮し、光沢のあるものや反射光の生ずるものを出来る限り使用しない。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	
特になし	
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	
大規模な自然災害発生時には、各構成員がそれぞれに被害調査を行い、情報集約、支援可能な構成員で復旧支援活動を行う。	